

教育委員会だより

町内小学校5年生市浦を訪問！

毎年恒例の市浦訪問（中塚洋司団長・滝沢小学校）が6月24日から2日間の日程で町内児童（5年生）48人の参加で実施されました。

到着後、市浦小学校で歓迎の挨拶を受け、五所川原市（旧市浦村）の紹介、交流ゲームを行ったのち、親交が深まったところで、毎年恒例のシジミ採りを今回初めて市浦小学校と合同で行いました。前日の大雨で十三湖は濁り、肌寒い日でしたが、児童はそんなことおかないしにシジミ採りを楽しみました。

その後、市浦小学校に戻りヒバ材を使った記念品をみんなで作りました。子どもたちは、作った記念品に互いの名前を書き入れ、9月の市浦小学校の上ノ国町訪問の際に再会することを約束していました。夕食はPTAがカレーライスト、十三湖でとれたヤマト

シジミを使ったシジミ汁を用意してくれました。市浦のシジミ汁は味噌ではなく、潮汁が一般的です。わたしたち上ノ国町民には、なじみのうすい物ですが、シジミのダシがしっかりと効いていてとてもおいしく頂きました。

翌日は五所川原市教育委員会の榎原滋きばらしげ高学芸員の案内で歴史民俗資料館を見学し、十三湊遺跡さんざんなどから出土された遺物を前にして、もともと市浦は上ノ国と交易をおこなっていたこと、それが縁で姉妹都市となり上ノ国・市浦との交流が行われている事などもお話してくれました。

その後、道の駅トーサムプラザに移動し、シジミ加工センターを見学。道の駅でおみやげを購入し、食事の際にはおなじみとなった、そして最後になるシジミ汁を頂き、元気に帰路につきました。



おいしいシジミ汁を食べました



楽しい記念品づくり



大きいシジミはいたかな？



五所川原市の紹介

早川小で七夕まつり

7月7日、早川小学校では毎年恒例の七夕まつりが開催されました。児童7名それぞれの願いを短冊に書いて笹につるし、石崎川の橋にみんなで飾りつけました。笹を飾りに行く道中では青森のねぶたをモチーフにした手作りの行灯あんどんをリヤカーで引っ張りながら練り歩きました。短冊に書かれたみんなの願いがかなうといいですね。行灯は校内にあるので早川小にお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。



どんな願いを書いたのかな？

小砂子でイカ釣り体験!!

早川地区生涯学習推進会議では7月3日、小砂子、早川、湯ノ岱小の3校でイカ釣り体験をおこないました。小砂子小では毎年の恒例行事ですが、3校合同でおこなうのははじめてになります。晴天に恵まれた今回は、全員船酔いすることなくイカ釣りを楽しみました。参加した児童の中には1匹も釣ることなく、悔しい思いをする子もいましたが、終わったあとは釣ったイカを参加者全員で調理し、イカ刺し・イカ焼きとイカづくしの料理に舌鼓を打ちました。



イカ とつたど〜